

RV160およびRV260でのIPsecプロファイルの手動キーイングモードの設定

目的

このドキュメントの目的は、RV160およびRV260シリーズルータでIPsec Profile for Manual Keyingモードを設定する方法を示すことです。

概要

IPsecにより、インターネット上でセキュアなプライベート通信が可能になります。インターネットを介して機密情報を送信するための、2つ以上のホストのプライバシー、整合性、および信頼性を提供します。IPsecは一般的に仮想プライベートネットワーク(VPN)で使用され、IPレイヤで実装され、セキュリティを欠く多くのアプリケーションを支援できます。VPNは、インターネットなどのセキュアでないネットワークを介して送信される機密データおよびIP情報のためのセキュアな通信メカニズムを提供するために使用されます。リモートユーザや組織が同じネットワーク上の他のユーザから機密情報を保護するための柔軟なソリューションを提供します。

手動キーイングモードにより、IPsecの柔軟性とオプションが低下します。ユーザは、設定する各デバイスに鍵関連情報と必要なセキュリティアソシエーション情報を提供する必要があります。手動キー入力は、小規模な環境で通常使用するのが最適であるため、適切にスケールしません。

この方法を使用するのは、このルータでのInternet Key Exchange (IKE ; インターネット鍵交換) v1またはIKEv2の実装がリモートルータと同じでない場合、またはルータの1つがIKEをサポートしていない場合だけです。このような場合、キーを手動で入力できます。ルータがIKEv1とIKEv2の両方をサポートし、同じ規格に準拠している場合は、手動キーイングモードではなく、IPsecプロファイルのオートキー モードを設定することを推奨します。

手動キーイングモードを使用する場合は、ローカルルータのキーインがリモートルータのキー アウトであり、リモートルータのキーインがローカルルータのキー アウトであることを確認してください。

2台のルータの設定例を次に示します。